



かんだ おがわまち に ちょうめ

# 神田小川町二丁目

スポーツショップが立ち並ぶ神田小川町。この界隈は明治時代から学校が多く、駿河台、神保町と並ぶ学生街として賑わってきました。学生街に集う若者の趣味を反映して大型のスポーツ用品店が出店はじめたのは昭和30年代からだそうですよ!

千代田区



神田小川町の交差点といえば「顔のYシャツ」の看板でしよう! 大正7年創業のオーダーメイドのYシャツ専門店、モデルは初代店主だそう



ブランダンレノア



酒庫 神田和泉屋



ポンチ軒



笹巻けぬきすし総本店



清雅堂

今月のエリアウォーク



小さな路地にもお店があったり、散策しがいのある風情が漂うエリア

**Event** 爛恋村から80トンの天然雪がやってくる! 第14回神田小川町雪だるまフェア

今年も都心で楽しむ雪あそび「雪だるまフェア」が開催されます。靖国通りに並んだ巨大な雪だるまの中からお気に入りを選んで投票したり、小川広場で「かまくら体験」や「ちびっこ雪あそび広場」で楽しんだり。本物の雪に触れ、大人も子供もワクワクです! このほか、パレードや足湯、爛恋村のグルメが食べられる飲食コーナーなど、イベントも盛りだくさん。




↑雪だるまはアイデア溢れるユニークな物ばかり  
←約4,000人は入る小川広場が満杯になるほど。来場は早め!

日時:1/17(土)、1/18(日) 10:00~18:00(小川広場は~16:00、イベントにより時刻は異なる)  
場所:小川広会場/靖国通り会場 問:神田小川町雪だるまフェア実行委員会 090-4723-4506  
<http://www.kanda-ogawamachi.com/>

**歴史** 小川町の守り神 幸徳稲荷神社

このエリアはもともと、山城の国淀の城主稲葉丹後之守(春日の局の後裔)の中屋敷があった場所で、幸徳稲荷神社はその屋敷内で「鍛冶屋稲荷」として祀られ、五穀豊穡や武運長久が祈願されていたそうです。明治維新後、この地に商家や町民が移り住み、町名も小川町一番地となったことから、町内の守護神として新たに伏見稲荷大社より霊を勧進して社殿を造営したと言われています。昭和43年には「幸徳会館」が建設され、2階に社を移して今の形に。毎年2月3日に「節分祭」、隔年5月には「修祓式」とお神輿の町内巡幸が行われています。




お社は江戸時代の姿のまま。建物の2階という風変わったところに鎮座している

幸徳稲荷神社 住所:千代田区小川町2-14-14

**マイコンヒーロー** 神田小川町雪だるまフェア実行委員会 事務局長 澤山和孝さん

スポーツ店の多い神田小川町らしい1月の風物詩

平成14年からはじまった『雪だるまフェア』も、今年で14回目。ウィンタースポーツ店の多い神田小川町らしい、1月の風物詩として知られるようになってきました。毎年、千代田区の姉妹都市である群馬県爛恋村から、80トンの本物の雪を運んできて、創作雪だるまのコンテストをしたり、かまくら遊びや雪のすべり台、「雪中宝さがし」など、さまざまな催しを行なっています。土曜日の昼までにいっしょと雪だるまの制作風景も見られますよ! 5年ほど前からは、明大と東大の応援団・チアリーダー・プラスバンドによるパレードもはじまり、より一層賑やかに。来場者も年々増え、2013年には「第9回東京商店街グランプリ」を受賞しました。主催は5つの商店会ですが、地元企業や大学、消防署や警察署など、若い力にバイトやボランティアで手伝っていただいて、本当に感謝しています。ぜひ皆さま、雪と戯れにいらしてくださいね!



←ソリで滑って遊べる「大きな雪のすべり台」  
↓パレードは1/17(土)13:00~14:00

**1 清雅堂**

次の年賀状はぜひ 手彫りの木版画に挑戦!

昭和30年から続くはんこ屋さん。毎年11・12月には年賀状用に、オリジナルの木版画が作れる図案や道具を販売している。作るのも楽しい手彫りの版画の年賀状は、もらった方もきっとうれしいはず。

住所:千代田区神田小川町2-1  
TEL.03-3291-1756  
営業時間:9:00~16:00  
(11・12月は~18:00、土11:00~17:00)  
定休日:土・日・祝(11・12月は土も営業)



↑手彫りのオリジナルゴム印もかわいい!(小)540円、(大)1,080円

**2 笹巻けぬきすし総本店**

江戸時代から続く老舗 笹巻ずしはお土産にも

創業元禄15年の東京で最も古い寿司屋さん。笹で巻くのは、冷蔵技術のなかった昔から。しっかり締めたネタは「なれ寿司」のような味わいで、保存がきくため、お土産に買っていく人も多い。また、店内で食べることもできる。

住所:千代田区神田小川町2-12  
TEL.03-3291-2570  
営業時間:10:00~18:30(土~17:00)  
定休日:日・祝、不定休



↑お土産用の5ヶ折詰1,134円~。お召し上がりは5ヶ1,296円~(潮汁、お茶付き)

**3 ポンチ軒**

サラッとつくくない! 行列必至のとんかつ店

揚げ油はラードではなく、コーン油とごま油をブレンド。じっくり低温で火を入れることでジューシーかつカラッと軽い揚げがりに具合に。特注のパン粉や、くせのない肉のチョイスなど、すべてが絶妙なバランスのとんかつをぜひご賞味あれ。



↑お昼はご飯、豚汁、キムチが取り放題。コース豚かつ(上)1,600円ほか、かつと特製カレーも人気 → フレンチ出身だという店長の橋本正幸さん

住所:千代田区神田小川町2-8扇ビル1F  
TEL.03-3293-2110  
営業時間:11:15~14:30LO(売り切れ次第終了)、17:30~21:00LO  
定休日:日・第3月



**4 ブランダンレノア**

日本のワインと新鮮野菜 創作テリーヌのお店

「日本のワインには知られてないけど美味しいものがいっぱいある」と語るキタムラさん。10/30にオープンしたばかりのこちらは、創作テリーヌなどお昼から飲みたくなってしまいうメニュー揃い。産直の新鮮野菜を使った料理もぜひ。



↑テリーヌランチ900円のほか、キッシュやケーキサレなどお昼は4種類ほど。ワインは1杯500円~

→演出家としても活躍するキタムラさん

住所:千代田区神田小川町2-8  
TEL.03-5244-5886  
営業時間:12:00~15:00/18:00~23:00、日13:00~20:00  
定休日:土・祝



**5 酒庫 神田和泉屋**

“地酒”のバイオニア! 他では買えないお酒も

まだ大手酒造によるお酒が一般的だった頃から、社長自ら日本酒の蔵をまわり、「地酒」という存在を世に広めてきたお店。1階の酒販店は残念ながら3月で閉店するが、2階の「神田和泉屋乃坐」では引き続き神田和泉屋のお酒が楽しめる。



↑ホヤとコノワタの塩辛:ばらばら500円と神田和泉屋のみで扱うお酒・四季桜の化粧

→店長の佐藤紀司さん

住所:千代田区神田小川町2-8神田横ビル1F  
TEL.03-3294-0201(2階は03-3294-0210)  
営業時間:12:00~19:00(2階は17:30~22:00LO)  
定休日:土・日・祝(貸切宴会の場合は応相談)

